

## (公社) 日本植物学会 平成28年度事業報告

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

### I. 事業の状況

#### 事業の概要

本学会は、植物科学に関する研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の発展に寄与することを目的としている。平成28年度は、下記の2公益事業を中心に、高い公益性を実現するための施策と事業を展開した。

#### (公益事業1) 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開

学術雑誌の刊行については、Journal of Plant Research (JPR) 129巻1号～6号(6冊)の発行と電子出版を行った。科学研究費補助金「国際情報発信強化(A)」に関する事業を実施した。植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、その情報を日本植物学会ホームページ等を通じて提供した。さらに一般向け情報をホームページ上で公開した。JPRの国内外の研究機関等への寄贈と交換を行った。植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

#### (公益事業2) 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進

定例学術集会として、日本植物学会大会を沖縄コンベンションセンターにて開催した。また社会への啓発活動等として、大会において一般向け公開講演会および高校生研究ポスター発表会を開催した。学術業績の表彰とその他研究の奨励として、日本植物学会賞の選考と授与を行った。さらに、大会時にポスター発表賞と高校生研究ポスター賞を授与した。また各種団体による賞・研究助成金公募への推薦を行った。国内外の関係学術団体、学術連合との連絡及び交流などを協力事業として行った。講演会、講習会等の主催、共催および後援を行った。その他、地方の関連学会を通じた研究動向調査、植物科学教育研究情報の収集と公開を行った。

### 1. 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開 (公益事業1)

#### ア. 学術雑誌及びその他の出版物の刊行(電子情報も含む)

##### JPR編集委員会

- (1) JPR 129巻1号～6号、(A4変形版、論文頁数1182頁、紙版：年6回隔月(奇数月)発行、発行部数1号2,250部、2号～6号2150部、オンライン版：随時維持・整備)の編集と発行を行った。
- (2) 質の高い論文誌発行のため、以下の施策を実施した。

- ① 科学研究費補助金の支援により植物学会大会（沖縄大会）においてJPRシンポジウム2件を企画し、実施した。
  - ② JPRシンポジウム論文の掲載、Current Topics in Plant Research論文の掲載、オープンアクセス論文の選考を実施した。
  - ③ IFやその他の指標（ゼロ被引用論文数、分野別・国別被引用数等）の解析を行い、ジャーナルの国際的な評価の向上策として、科学研究費の支援により電子メールサービスを利用した論文広報策1件を実施した。
- (3) JPR外国人編集委員を3名として、編集体制の国際化の強化を図った。JPR編集協力委員（Editorial Board Members）の協力による編集体制の強化、読者データベースおよび投稿・審査システムの充実を行った。編集方針の整備と公開を行った。
  - (4) 著者・購読者に対するサービスの向上のために学会ホームページ上での和文要旨の公開、投稿ガイドライン・規程類の整備と公開を行った。
  - (5) 編集委員会、拡大編集委員会（大会会期中）を開催し、JPRの質の向上のための意識統一と施策の検討を行った。

#### 広報委員会

- (1) 会員向けサービスとして、大会や関連学会情報、電子ジャーナルアクセス権の案内などを学会ウェブページに追加し、利便性を高めた。また、熊本地震対策掲示板を設置し、被災地における会員支援のための情報交換の場を提供した。
- (2) 一般向けサービスとして、動画コンテンツの不具合の修正、高校生会友の入会案内の電子化、新コーナーの設立（キャリアアップへの招待）などを行い、学会活動内容のより一層の普及を図った。また、一般の方々から25件の質問に対応し、植物科学の浸透に貢献した。

#### 電子出版物編集委員会

- (1) BSJ-Review vol.7として、「C4光合成研究の新展開（New Era of C4 Photosynthesis）」、「古い酒を新しい革袋に～preexisting gene regulatory networkの転用による陸上植物のボディプラン革新」、「植物の環境認識と自律分散型情報統御システム」、「細胞機能の変容と循環を視る～可逆性と不可逆性から探る細胞分化の本質～」、「根系の構築～多様な構造と働き～」ならびに「ポストゲノム時代の植物進化研究」の各総説集の編集作業を行い、電子出版した。
- (2) BSJ-Review vol.8の編集方針を決定し、執筆者に原稿依頼を行った。
- (3) BSJ-Reviewの各総説へDOI番号を割り振るために、日本国内のDOI管理組織であるJaLCへ平成29年度4月に入会するための調整をJaLCとの間で進めた。

#### 「植物学の百科事典」編集委員会

一般向け百科事典「植物学の百科事典」を出版した。

#### イ. JPRの国内外の研究機関への寄贈と交換

- (1) 国内外の研究機関等とJPRの寄贈と交換を行った。
- (2) JPRとの交換で得られた雑誌を本学会員や外部閲覧者に無料で公開した。

#### ウ．植物学関連図書の閲覧公開

東京大学大学院理学系研究科附属植物園にて保管している植物学会の所蔵図書を、会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

## 2. 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進（公益事業2）

### ア．学術集会、講演会、講習会などの開催

#### 大会として

##### 大会実行委員会

- (1) 日本植物学会第80回大会（平成28年9月16日から9月19日：沖縄コンベンションセンター、沖縄県立博物館）を開催した。大会演題は524題であった。大会の要旨集（270ページ）を作成し発行した。一般向け公開講演会「黒船から始まった沖縄の植物学」（平成28年9月19日実施）の企画と実施、シンポジウムの公募と選定を行った。公募シンポジウム、ポスター発表、高校生研究ポスター発表会、展示ブースのためのプログラム作成と会場設営を行った。理事会企画シンポジウム「ゲノム編集～現状と未来」（平成28年9月18日実施）、男女共同参画委員会が準備するランチョンセミナー「研究者だからこそ！裁量労働制を活用した柔軟な研究と育児の両立に向けて」（平成28年9月17日実施）を、理事会、男女共同参画委員会と協議して実施した。
- (2) 参加者に対して、講演要旨集の電子媒体（電子ブック版）での提供を行った。
- (3) 学会本部と共に託児室サービスを実施した。
- (4) 大会の実施にあたって、運営に関しては庶務担当理事と、経理に関しては会計担当理事と連絡を密にし、大会の運営にあたった。
- (5) 日本植物学会賞受賞者（大賞1件、学術賞1件、奨励賞4件、若手奨励賞2件、JPR論文賞3件）の授賞式と講演会を行った。大会ポスター発表と高校生研究ポスター発表会の優秀ポスターについて、表彰を行った。高校生研究ポスター賞の受賞者情報は学会ウェブページに掲載した。

#### 広報委員会

日本植物学会第80回大会における理事会主催シンポジウムを企画し、「ゲノム編集～現状と未来」と題するシンポジウムを行った。

#### 男女共同参画委員会

日本植物学会第80回大会における男女共同参画ランチョンセミナーを大会実行委員会と企画し、「研究者だからこそ！裁量労働制を活用した柔軟な研究と育児の両立に向けて」と題するセミナーを行った。

## 運営委員会

- (1) 庶務担当理事は大会の運営に関して、会計担当理事は大会の経理に関して、大会実行委員会の担当者とは協議し運営を補佐した。
- (2) 庶務担当理事は、年次学術集會中の以下の委員会の開催に必要な会場について、大会実行委員会の担当者とは協議した（運営委員会、臨時代議員会、JPR編集委員会、JPR拡大編集委員会、学会賞選考委員会、拡大広報・電子出版物編集委員会、男女共同参画委員会、大会引き継ぎの会合）。

## 学会全体として

講演会、講習会等の共催、後援および協賛を行った。

### --後援4件

- ・「『青少年のための科学の祭典』2016各大会」（主催：（公財）日本科学技術振興財団人財育成部「青少年のための科学の祭典事務局」）平成28年6月11日～平成29年1月28日 会場：全国各地76会場
- ・The 17th International Conference on the Cell and Molecular Biology of Chlamydomonas（主催：組織委員会 福澤秀哉（京都大学）、高橋裕一郎（岡山大学）、皆川純（基礎生物学研究所））平成28年6月26日～7月1日 会場：京都国際会館
- ・「藤原ナチュラルヒストリー振興財団神戸シンポジウム」（公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団）平成28年10月22日 会場：兵庫県民会館けんみんホール
- ・「サイエンスキャッスル2016」（主催：株式会社リバネス）平成28年12月11日～12月24日 会場：九州大会（もやい会館（熊本））東北大会（東北大学）関西大会（大阪明星学園中学校高等学校）関東大会（TEPIA 先端技術館（東京））

### --協賛2件

- ・第18回マリンバイオテクノロジー学会大会（主催：マリンバイオテクノロジー学会）平成28年5月28日～29日 会場：北海道大学 函館キャンパス
- ・第61回低温生物工学会大会（主催：低温生物工学会）平成28年6月25日 会場：東京電機大学 鳩山キャンパス

## イ. 研究業績の表彰その他研究の奨励

### 学会賞選考委員会

- (1) 平成28年度日本植物学会賞候補者の選考（大賞、学術賞、奨励賞、若手奨励賞、特別賞（技術・教育・その他））を行い、会長に報告してその承認を得るとともに理事会に報告をした。
- (2) 平成29年度日本植物学会賞の選考にあたり、候補者の募集を行った。

## JPR編集委員会

JPR編集委員会は、JPRに掲載された論文からJPR論文賞候補を選考し、会長に報告してその承認を得るとともに、理事会に報告をした。

#### ウ．国内外の関係学術団体との連絡及び協力

##### 学協会委員

生物科学学会連合、光生物学協会、理数系学会教育問題連絡会、自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会に委員を派遣し、協力した。

##### 男女共同参画委員会

第14期、第15期男女共同参画学協会連絡会の運営委員会、シンポジウムに参加し、協力した。

##### 学会全体

- (1) 日本学術会議第二部基礎生物学委員会、統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会と連携し、日本の政策決定に向けて提言の作成、および提言を実現するための具体的な施策に関する事項を担当した。
- (2) 生物科学学会連合を通じて、参加学会との連携・協力を強化した。
- (3) 地方の植物学会との連携・協力を行った。

#### エ．その他この法人の目的を達成するために必要な事業

地方の植物学会を通じた研究動向調査、広報委員会を通じて、植物科学教育研究情報の収集とホームページを用いた公開を行った。

### 3. 管理業務

##### 運営委員会

- (1) 平成27年度の事業報告案と決算案を検討、作成した。
- (2) 平成28年度補正予算案及び平成29年度の事業計画案と予算案を検討、作成した。
- (3) 学会全体と学会内の委員会が関与する諸事項を検討し、事前に対応策を立案し、理事会へ提案した。
- (4) JPRの活性化を継続的に行った。
- (5) 学会の財政基盤を安定化するために、総合的な検討を行った。
- (6) 学会の活性化のため、会員数の維持・増加にむけての方策を検討した。
- (7) 日本植物学会表彰制度の実施と広報の活発化を図った。
- (8) 学会運営の合理化に関して、予算措置を含め検討し、効率的な学会の構築策を立案した。

##### 庶務関係

- (1) 代議員会開催に関する準備と運営を行った。

- (2) 公益社団法人日本植物学会第三期代議員選挙事務を行った。
- (3) 会員サービスの向上を目的として地方の植物学会との連携を推進した。
- (4) 関連委員会との連携を強化した。
- (5) 公益法人体制における各種規程・契約の審議基準の見直し等、本部業務全般に渡る業務効率化の推進を行った。
- (6) 会員名簿の作成を行った。

## 会計関係

- (1) 平成28年度の経理管理と決算処理を遂行し、平成29年度予算案を策定した。
  - ① 単年度経常収支均衡を原則とする弾力性のある経理管理を行った。
  - ② 会計報告(月次)および決算報告(年次)を行った。
  - ③ 単年度経常収支均衡の原則下での活力のある学会を目指した予算を策定した。
  - ④ 収入増、支出減のための所要の施策を提言した。
- (2) 各委員会等の新規事業立案に対して経理面での建議、支援を行った。
- (3) 各種引当預金の使用計画を具体的に策定した。
  - ① 中長期的視点に立った使用計画を立案した。
- (4) 中長期的学会運営に関し経理面の課題を検討し、対策を提案した。
- (5) 公益法人資格を維持するために必要な業務を行った。
  - ① 公益法人認定基準に照らした学会運営状況を確認した。
  - ② 内閣府公益認定等委員会へ事業計画、事業報告等を提出した。
- (6) 細則第3条10項に基づき、熊本地震被災者に対する平成29年度会費免除を行った。

## 広報委員会

- (1) ホームページの恒常的なメンテナンス作業を行った。
- (2) ホームページのアクセス解析を行い、コンテンツの向上を図った。
- (3) 理事会に委員長がオブザーバーとして参加し、広報活動の強化に関して提言を行った。

## 選挙管理委員会

公益社団法人日本植物学会第三期代議員選挙を実施した。

## II. 処務の概要

1. 定例代議員会1回、臨時代議員会1回、理事会6回、運営委員会2回およびその他の会合を開催した。
2. 諸規則の整備を行った。
3. 公益社団法人日本植物学会第三期代議員選挙を実施した。(平成28年6月25日開票)
4. 役員等に関する事項

### (1) 平成28年 会長、理事、監事

#### 【役員・理事】

代表理事(会長)	戸部 博	(京都大)
専務理事	綿野 泰行	(千葉大)
編集担当理事	西田 生郎	(埼玉大)
理事	今市 涼子	(日本女子大)
理事	河野 重行	(東京大)
理事	澤 進一郎	(熊本大)
理事	園池 公毅	(早稲田大)
理事	田中 歩	(北海道大)
理事	長谷部 光泰	(自然科学研究機構)

庶務担当理事 伊藤 恭子 (東京大)

会計担当理事 岩井 宏暁 (筑波大)

#### 【役員・監事】

邑田 仁	(東京大)
松浦 克美	(首都大学東京)

### (2) 公益社団法人日本植物学会第三期代議員 47名

地区	定数(人)	氏名	所属
北海道	2	長里 千香子	北海道大 北方生物圏フィールド科学センター
		藤田 知道	北海道大 院 理学研究院
東北	3	高橋 秀幸	東北大 院 生命科学研究科
		西谷 和彦	東北大 院 生命科学研究科
		横山 潤	山形大 学術研究院
北陸	2	岩坪 美兼	富山大 院 理工学研究部
		西川 周一	新潟大 理 生物学科
東関東	6	石田 健一郎	筑波大 院 生命環境科学研究科
		今泉(安楽)温子	農業・食品産業技術総合研究機構
		朽津 和幸	東京理科大 理工学部
		佐藤 忍	筑波大 院 生命環境科学研究科
		西田 治文	中央大 理工学部
		松永 幸大	東京理科大 理工学部
西関東	6	太田 啓之	東工大 生命理工学院
		川合 真紀	埼玉大 院 理工学研究科
		川上 直人	明治大 農学部
		西田 生郎	埼玉大 院 理工学研究科
		久堀 徹	東工大 科学技術創成研究院
		日原 由香子	埼玉大 院 理工学研究科
東京	8	今市 涼子	日本女子大 理 物質生物科学科
		加藤 美砂子	お茶の水女子大 基幹研究院
		杉山 宗隆	東京大 院 理学系研究科
		園池 公毅	早稲田大 教育・総合科学学術院
		塚谷 裕一	東京大 院 理学系研究科
		寺島 一郎	東京大 院 理学系研究科
		永田 典子	日本女子大 理 物質生物科学科
		村上 哲明	首都大学東京 院 理工学研究科

地区	定数(人)	氏名	所属
中部	5	芦莉 基行	名古屋大 生物機能開発利用研究センター
		川口 正代司	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
		木下 俊則	名古屋大 トランスフォーマティブ生命分子研究所
		長谷部 光泰	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
		東山 哲也	名古屋大 トランスフォーマティブ生命分子研究所
近畿	7	荒木 崇	京都大 院 生命科学研究科
		柿本 辰男	大阪大 院 理学研究科
		工藤 洋	京都大 院 生態学研究センター
		長谷 あきら	京都大 院 理学研究科
		西村 いくこ	甲南大 理工学部
		三村 徹郎	神戸大 院 理学研究科
		吉田 聡子	奈良先端科学技術大学院大学
中国	3	嶋村 正樹	広島大 院 理学研究科
		高橋 裕一郎	岡山大 院 自然科学研究科
		山口 富美夫	広島大 院 理学研究科
四国	1	奥田 一雄	高知大 総合科学系 黒潮圏科学
九州	3	射場 厚	九州大 院 理学研究院
		内海 俊樹	鹿児島大 院 理工学研究科
		高野 博嘉	熊本大 院 先端科学研究部
沖縄	1	山崎 秀雄	琉球大 院 理工学研究科

## 5. 代議員会

### (1) 定例代議員会

平成 28 年 3 月 5 日（土）14:00-16:40、東京大学理学部 2 号館 第 1 講義室（201 号室）において開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
平成 28 年 3 月 5 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会 平成 27 年度決算報告（案）	承認

### (2) 臨時代議員会

平成 28 年 9 月 15 日（木）17:00-19:40、琉球大学 千原キャンパス 理系複合棟 1 階 102 室において開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
平成 28 年 9 月 15 日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会平成 29 年度事業計画(案)	承認
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会平成 28 年度補正予算(案)	承認
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会平成 29 年度予算(案)	承認
	第四号議案 平成 29 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	第五号議案 公益社団法人日本植物学会次期選挙管理委員の承認について	承認

## 6. 理事会

### (1) 平成28年度第一回理事会

平成 28 年 1 月 24 日（日）13:00-17:30、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催され、以下の審議を行った。

開催年月日	議決事項	
平成 28 年 1 月 24 日	(1) 公益社団法人日本植物学会平成 27 年度事業報告（案）	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会平成 27 年度決算報告（案）	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会 平成 28 年理事会シンポジウムについて	承認
	(4) 公益社団法人日本植物学会 謝金規程の制定（案）	承認
	(5) 公益社団法人日本植物学会 特定個人情報等の適正な取り扱いに関する基本方針の制定（案）	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会 特定個人情報取扱規程の制定	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会 プライバシーポリシーに関する覚書の修正（案）	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会 大会開催に関する覚書の改定（案）	承認
	(9) 沖縄大会特定寄附について 法人対象	承認
	(10) 沖縄大会特定寄附依頼書について 個人対象	承認
	(11) Journal of Plant Research 入札について	承認
	(12) 公益社団法人日本植物学会 図書の覚書の制定（案）	承認
	(13) 会費未納による会員資格喪失対象者について	承認
	(14) 平成 28 年度公益社団法人日本植物学会第三期代議員選挙の開票日について	承認
	(15) 会計補佐委員について	承認
	(16) 平成 28 年定例代議員会について	承認



(2) 平成28年度第二回理事会

平成 28 年 6 月 29 日（水）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 28 年 6 月 29 日	(1) 公益社団法人日本植物学会出張規程の改定（専務理事案）	否決

(3) 平成28年度第三回理事会

平成 28 年 7 月 30 日（土）13:00-16:50、東京大学理学部 2 号館 第 2 講義室（223 号室）において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 28 年 7 月 30 日	(1) 公益社団法人日本植物学会平成 29 年度事業計画(案)	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会平成 28 年度補正予算(案)	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会平成 29 年度予算(案)	承認
	(4) 平成 29 年度 JPR 刊行安定化基金への支出について	承認
	(5) 平成 29 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会出張規程（改訂案）	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会航空機ビジネスクラス利用の基準についての覚書制定（案）	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会賞受賞者選考規程（改訂案）	承認
	(9) 公益社団法人日本植物学会 調達・契約規程（改訂案）	承認
	(10) 公益社団法人日本植物学会男女共同参画委員会に関する内規（改訂案）	承認
	(11) 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査について	承認
	(12) 生物科学連合次期代表候補者の推薦について	承認
	(13) 2017 年度生物科学系学会合同年次大会の協賛について	承認
	(14) 熊本地震被災者に対する会費免除について	承認
	(15) 公益社団法人日本植物学会と公益財団法人日本メンデル協会の経費負担割合について	承認
	(16) 理事・監事の推薦について	承認
	(17) 次期選挙管理委員について	承認
(18) 平成 29 年度大会会長について	承認	
(17) 平成 28 年度臨時代議員会について	承認	

(4) 平成28年度第四回理事会

平成 28 年 8 月 26 日（金）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 28 年 8 月 26 日	(1) 公益社団法人日本植物学会契約委員会内規の制定（専務理事案）	承認

(5) 平成28年度第五回理事会

平成 28 年 9 月 6 日（火）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 28 年 9 月 6 日	(1) 公益社団法人日本植物学会 契約委員会委員について (専務理事案)	承認

(6) 平成28年度第六回理事会

平成 28 年 11 月 4 日 (金)、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
平成 28 年 11 月 4 日	(1) 公益社団法人日本植物学会 植物学振興預金運営内規の改定 (専務理事案)	承認

7. その他

諸規則の整備を行った。

### Ⅲ. 会員の推移（夏期）

【人】

会員種別	2007. 7. 2	2008. 7. 1	2009. 7. 1	2010. 7. 13	2011. 7. 14	2012. 7. 9	2013. 8. 1	2014. 8. 13	2015. 8. 18	2016. 8. 23
名誉会員	9	9	9	9	8	8	7	7	7	7
正会員	1,994	1,991	1,919	1,937	1,915	1,855	1,907	1,903	1,874	1,826
内終身会員	18	18	13	13	12	11	11	10	10	10
内50年会員	119	117	123	121	119	125	124	121	118	114
内学生会員	358	415	390	418	396	347	408	426	451	405
内上記以外の 正会員	1,499	1,441	1,393	1,385	1,388	1,372	1,364	1,346	1,331	1,297
団体会員	25	18	15	15	14	14	14	14	14	10
賛助会員	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
海外個人 会員（日本 人含む）	99	114	111	110	126	122	137	124	126	134
合 計	2,129	2,134	2,056	2,073	2,065	2,001	2,067	2,049	2,022	1,978

### Ⅳ. JPRの出版状況の推移

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
投稿件数	356	379	428	393	410	459	481	562	520	575
（国内）	77	71	90	86	70	66	62	61	53	62
（海外）	279	308	338	307	340	393	419	501	467	513
出版論文数	67	61	94	82	69	73	81	74	86	102
（国内）	43	37	58	50	42	47	37	37	43	38
（海外）	24	24	36	32	27	26	44	37	43	64
IF	1.415	1.590	1.524	1.512	1.746	2.059	2.507	1.823	1.684	未定

### Ⅴ. 大会参加者数の推移

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
開催地	野田	高知	山形	春日井	東京	姫路	北海道	神奈川	新潟	沖縄
参加者数	900	734	672	766	975	742	808	1,002	910	669 *
演題数	456	488	434	523	571	474	552	547	513	524

\*, 大会参加費を支払った人数

## 事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。